

安心安全な嚥下訓練の提供

フィードフォワード的臨床思考とその実践

講師 **柴本 勇**先生
(聖隷クリストファー大学)

2024

3/3(日)

13:00~15:30

<オンライン開催>

摂食嚥下リハビリテーションは、多疾患に対して行われます。各疾患では病態が異なると同時に、リスクの観点も異なります。日々臨床をされておられる言語聴覚士の先生方は、運動範囲、運動負荷、運動方向、刺激強度、訓練効果など綿密に検討された上で実行されていると思います。ただし、疾患の特徴に合わせて、臨床家自身がフィードフォワード的な思考で十分に行うには臨床経験が必要となります。失敗を恐れずに臨床経験を積み重ねるという考えもありますが、他人の身体状態に影響を与えることは医療専門職としては極力避けたいと考えます。また、モニタリングやフィードバックは、事象が生じたことを把握しているということになります。本セミナーでは、訓練法と疾患特異性を掛け合わせて、ある疾患の方の身体状況を把握しつつ「安心安全」な嚥下訓練の提供について、臨床技能をお伝えしたいと考えています。この方にこの方法は安心安全？安心安全でない？ということ、セミナー翌日から理解し臨床活動して頂けるようなるべく具体的な内容をお伝えします。

対象	言語聴覚士 (ほか)
定員	250名
申込方法	当研究会ホームページまたは右記のQRコードからお申し込みください。
参加費	当研究会会員：無料 会員外：3,000円 ※会員として参加される場合、2/23(金)までに入会手続きをお済ませください。
申込締切	2024年2月29日(木) 定員になり次第締め切ります。

